

適切な意思決定支援に関する指針

目的：患者本人が望む人生を送れるようにする。

当院の立場：患者本人の意思を尊重し、必要な医療的サポートを行う。

関係者：家族、訪問診療、訪問看護、ケアマネジャー、介護・福祉サービス、病院、その他患者に関わる人。

方法：

- ①本人の意思を確認し、病状の変化等があれば本人の意思を再確認する。
- ②関係者は、それぞれの立場で本人の意思・意思決定に関わる情報を提供する。
- ③本人の意思がはっきりしないときは、本人が大切にしていることを確認する。あるいは、家族等の身近な人に本人の意思を推測してもらう。
- ④人生会議として記録をし、関係者と本人の意思を共有する。